

■個別事務事業

事業No.	47	事務事業名	リニア駅周辺整備事業
基本目標	13	リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する	
小戦略	②	リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かす 広域交通拠点整備と広域道路ネットワークの強化	
分野別計画			

評価の視点・ 評価のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> 戦略的事務事業 戦略計画又は年度戦略への貢献度、達成度を向上させる視点から評価 ①戦略的事務事業は、年度戦略（小戦略）を実現するために妥当か。 ②実現するために見直しや改善点はあるか
	<input type="checkbox"/> 政策的事務事業 各常任委員会の課題認識や、必要に応じ分野別計画における位置づけ等を 確認しつつ論点抽出を行った上で、見直し、改善点等を評価する。

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

- ・リニア駅周辺の土木実施設計の公表や関連工事を進めるなど、年度戦略（小戦略）の広域交通拠点整備の実現に向けた取り組みとして概ね妥当と評価する。
- ・その一方で、駅前広場や高架下の管理運営の事業体組成や二次交通等における新たなモビリティ活用については緒についたばかりである。民間事業者の意欲を引き出すためには、JR東海に開業時期を早急に示すように働きかけるとともに、市として具体的な活用イメージを提示することが必要である。
- ・重点協議区域はリニア駅周辺整備との関連性が高い。また、大屋根の基本設計に取り組むこととなるが、土地利用や景観の観点から、駅周辺の全体感や方向性を示し推進することが必要である。

次年度以降に対する判断

○	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線の開業に向け、駅を中心とした景観や交通インフラ、管理運営の事業体組成の段階に入ってきており、継続。 ・リニア駅周辺整備に向けて今後ますます機運を高めていくことが必要である。基本設計の策定や事業の推進にあたっては、時機を逸することなく、市民や議会に説明をされたい。
	改善 (予算反映有)	
	改善 (予算反映無)	
	抜本的な見直し (廃止を含む)	